

令和4年度 事業報告

令和4年度においては、引き続き膜構造及び膜材料の一層の普及・発展に向け、膜構造の品質確保のための各種技術標準の整備、講習会・見学会等を会員の協力を得て円滑に実施するとともに、今後の協会及び会員の活動に資するため、近年の膜構造等の普及における課題や社会経済情勢等を踏まえた調査研究活動を実施した。

また、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業として、建築材料品質性能評価事業及び型式適合認定事業を適切に実施した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）について

- (1) 膜材料及び膜構造の品質・安全性確保のため定めた技術標準等について、実情に応じた見直しを行い改訂版の発行を行った。
- (2) 膜体加工工場登録制度について、7工場の審査を行い登録の更新を行った。また、高度な品質管理を行う工場として3工場の認定を行った。（令和4年度末現在の登録工場数；A種、B種、C種及びテント倉庫用膜材料を加工する工場6工場、B種、C種及びテント倉庫用膜材料を加工する工場13工場、膜構造用フィルムを加工する工場2工場。認定工場数：A種膜材料の加工を行う工場2工場。B種、C種及びテント倉庫用膜材料を加工する工場2工場。協会ホームページに掲載。）
- (3) 「膜施工管理技術者講習」を、1月19日及び20日に実施し、講習後の考査を経てS種16名を登録した。（令和4年度末現在の登録者数 S種71名、M種17名、R種4名、計92名。協会ホームページに掲載。）
- (4) 「定期点検者講習」を令和4年9月20日に実施し、講習後の考査を経て35名を登録した。（令和4年度末現在の登録者数 135名。協会ホームページに掲載。）
- (5) 膜材料の品質確保に関し、国土交通大臣の認定を受けた膜材料等の第三者による製品試験等を促すとともに、国土交通省が行う、認定を受けた建築材料等に係るサンプル調査について、2品目（2事業者）に係る製品試験、工場の品質管理等に係る調査等を行った。

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）について

- (1) 今後の一層の安全性の向上に向け。本協会に提出、保管されている定期点検報告の維持管理に係る情報を活用するため、データの整理に向けた準備を行った。
- (2) 欧州におけるフッ素系材料の使用制限の動き、低炭素性のアピールなど現下の環境分野における動向に的確に対応していくため、情報収集、有識者からの意見聴取などを行った。
- (3) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。
- (4) 「膜構造ジャーナル2022」について、投稿のあった研究論文に係る審査を経てとりまとめ、公表するとともに「膜構造ジャーナル2023」の投稿募集を行った。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）について

- (1) 協会ホームページについて、膜構造に関する基礎的な情報、知見の提供を行うとともに、協会事業等に関する最新の情報発信を行った。また、事例紹介ページについては、検索機能を設けユーザーが求める情報に容易にアクセス出来るよう改善した。
- (2) 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会とともに、設計者、自治体等担当者向けの施設見学会を、2月22日に長崎県、佐賀県及び福岡県において実施し、スポーツ施設、交通関連施設等における膜構造の活用例の見学及び講習を行った。

見学施設：長崎駅、長崎県総合運動公園陸上競技場、佐世保駅（以上長崎県）、佐賀駅前広場（佐賀県）、福岡西市民プール（膜天井）、博多駅（以上福岡県）

4 性能評価事業等（行政代行事業ほか）について

- (1) 指定性能評価機関として、4件の膜材料に係る評価を行い国土交通大臣への認定申請を行った。また、国土交通省が行う認定を受けた建築材料等のサンプル調査について、膜材料に関する製品検査、工場の品質管理等に係る調査の実施に協力した（再掲）。
- (2) 膜構造に係る型式適合認定に係る指定認定機関として、12件のテント倉庫建築物その他の膜構造建築物の認定を行った。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査は案件がなかった。

5 会議の開催状況

(1) 総会

令和4年度通常総会を6月22日に開催し、令和3年度事業報告及び決算を承認するとともに、任期満了に伴う役員を選任を行った。また、令和4年度事業計画及び収支予算の報告を行った。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月17日）

令和3年度事業報告及び決算、通常総会の開催及び議案に関する件についての審議を行った。また、理事の職務執行状況報告（令和4年度1回目）を行った。

② 第2回臨時理事会（6月22日）

通常総会において選任された新たな役員により、会長（代表理事）、副会長及び専務理事の選定を行った。

③ 第3回臨時理事会（12月2日）

令和4年度上半期の事業実施状況及び理事職務執行状況の報告（令和4年度第2回）を行った。

④ 第4回通常理事会（令和5年3月16日）

令和5年度事業計画及び令和5年度予算の承認、令和5年度通常総会の開催、日本膜構造協会表彰規程について審議を行うとともに、事業実施状況の報告を行った。

(3) 企画運営委員会

委員会を3回開催し、理事会への付託案件、協会の運営、協会事業の実施など事業活動における諸課題についての討議を行った。

- (4) 品質・技術研究委員会
委員会を2回開催し、技術基準の整備、改訂、調査研究の推進などについて討議を行った。
- (5) 普及情報委員会
委員会を2回開催し、膜構造普及のための講習会の実施、会員向けの施設見学会の実施などに関する討議を行った。
- (6) 維持保全専門委員会
委員会を3回開催し、定期点検報告書35件の審査を行った。
- (7) 工場登録専門委員会
委員会を4回開催し、工場登録及び認定に係る工場審査等の審議を行った。
- (8) 性能評価委員会
建築材料品質性能評価委員会を3回開催し、膜材料4件についての性能評価を行った。
- (9) 型式適合認定委員会
委員会を3回開催し、8件についての審査を行った。
- (10) 性能評価業務及び型式適合認定業務に係る監視委員会
委員会を1回開催し、令和3年度の事業に係る審議を行い国土交通大臣への報告を行った。
- (11) 膜構造技術審査委員会
本年度は審査に至った案件はなく審査委員会の開催はなかった。

6 会員の動向

| | 令和4年度末 | 令和3年度末 |
|--------|--------|--------|
| 第1種正会員 | 19社 | 19社 |
| 第2種正会員 | 16社 | 16社 |
| 第3種正会員 | 85名 | 88名 |
| 第4種正会員 | 6社 | 6社 |
| 賛助会員 | 1社 | 1社 |
| 合計 | 127会員 | 130会員 |